

特集

ものづくりのまちおおがき

さらなる飛躍を目指して



県内有数の産業都市として、発展を続けている大垣市——。

大企業や高度な技術力を有する中小製造業などが集積しており、「ものづくりのまち」として、日本を支える重要な役割を担っています。

今回の特集では、本市の産業の特徴を見ながら、今後も発展し続けていくために必要な人材育成の状況、企業への支援策などを中心に紹介します。

詳しくは、産業振興室（☎47-8609）へ。

大垣インターチェンジから車で2分という利便性を生かした横曽根工業団地

産業の「昔」と「今」



当時の紡績工場の様子

▶ 主要産業だった繊維工業

大垣は明治時代以降、電気・電話・ガスなどのインフラや、鉄道などの交通網が整備されたことにより、大規模紡績工場が進出。昭和35年には、繊維工業が工業全体の約6割を占め、大垣を象徴する主要産業となりました。

▶ 電子機械器具などが製造の中心に

その後、時代の変化とともに企業の撤退などの影響で繊維工業は減少。現在では、パソコンや携帯電話の普及などにより、電子機械器具製

造業や輸送用機械器具製造業が製造品出荷額等全体の約4割を占めています。

また平成8年には、ソフトピアジャパンの整備により情報産業も集積され、市の新たな産業基盤となりました。

このように本市の産業は、時代の変化に適応しながら、その時代を象徴する産業が牽引してきたのが特徴で、現在も「ものづくりのまち」として発展し続けています。

●● ソフトピアジャパン ●●

ソフトピアジャパンは、市の北東部に整備された、IT関連企業などが集まる情報産業集積地です。

近年、スマートフォンの普及により、そのアプリケーション開発に取り組む企業も集積されてきました。平成27年4月現在、146社、2,118人が活動、売上高約350億円にのぼる中部圏のIT拠点として成長し続けています。



製造業のまち「大垣」

▶ 電子部品・デバイスが主要製造品

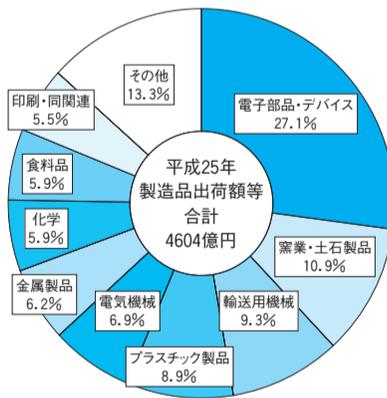
製造品出荷額等は約4,604億円で、岐阜県全体の出荷額約4兆7,980億円の約10%を担っています。

右のグラフでは、電子部品・デバイスが27.1%と最も多くなっていますが、それ以外にも幅広い製品を造っていることが分かります。



主要製造品であるパソコン基盤

製造品出荷額等の業種構成(大垣市)



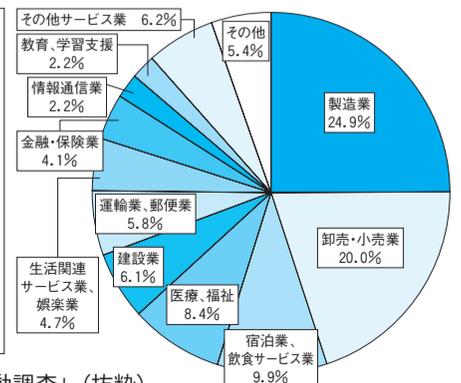
出典：経済産業省「平成25年工業統計調査」

▶ 製造業のまち

産業別従業者数を見ると、製造業に従事する人が全体の24.9%と、最も多くを占めています。一方、他の業種でも比較的割合の大きいものもあり、幅広い業種が混在する構造となっているのが特徴です。

この製造業の割合は、全国平均の1.5倍にもなり、製造業がまちの主要産業となっていることを示しています。

産業別従業者数の構成比(大垣市)



| 主な産業別事業所数、従業者数 | | | |
|----------------|-------|---------|---------|
| 分類 | 事業所数 | 従業者数(人) | 従業者数全国比 |
| 製造業 | 927 | 19,036 | 1.50 |
| 卸売業小売業 | 2,073 | 15,346 | 0.95 |
| 金融業保険業 | 163 | 3,164 | 1.45 |
| 宿泊業飲食業 | 997 | 7,562 | 1.02 |
| 総数 | 7,947 | 76,543 | 1.00 |

出典：総務省「平成24年-経済センサス活動調査」(抜粋)

あの製品も この製品も 大垣製！

● 優れたものづくり企業を紹介中 ●



市内で造られている数々の製造品。中には、国内シェアトップクラスの企業があるなど、日本の産業を支える事業所が数多くあります。

現在、市役所1階ロビーでは、映像を交えながら、ものづくり企業やその製造品などを紹介しています。